

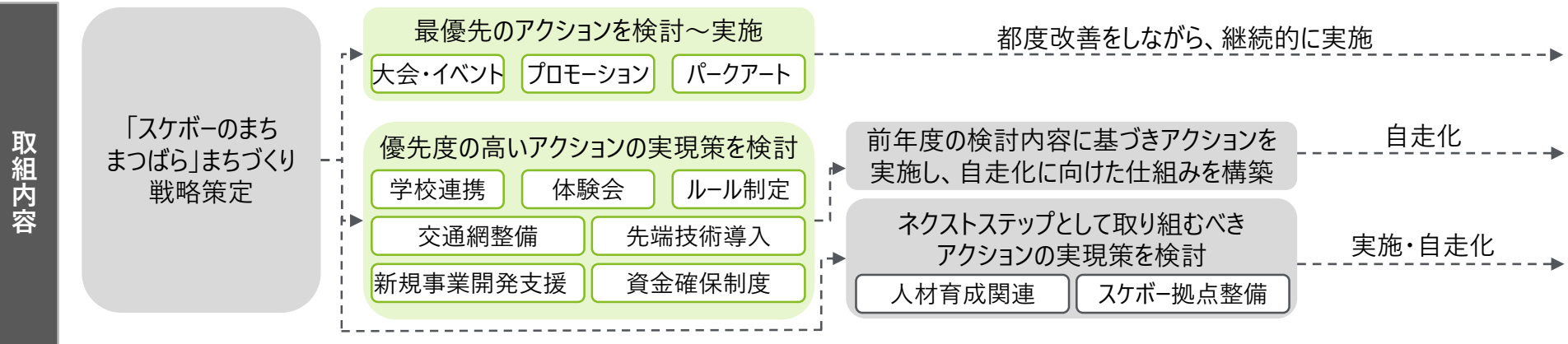
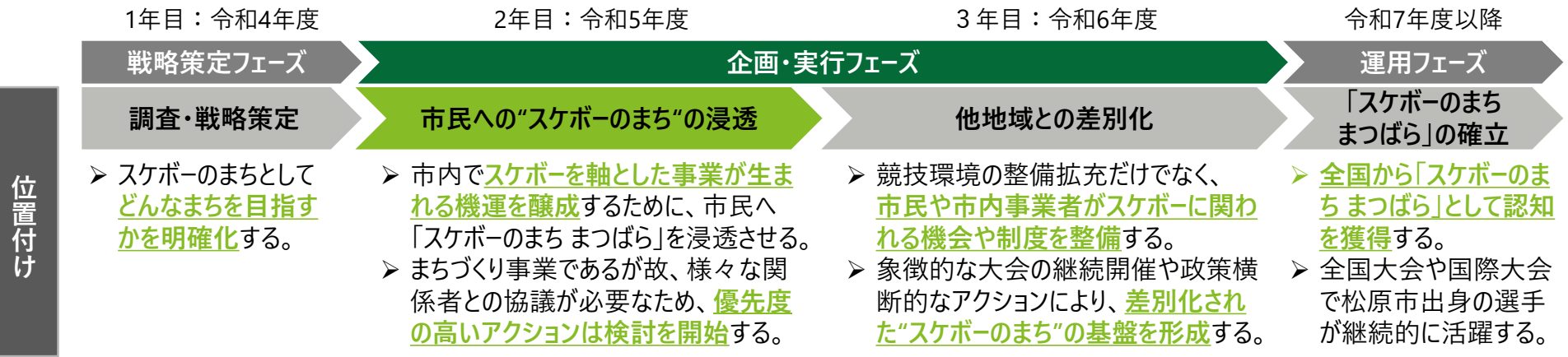


令和5年度「スケボーのまちまつばら」推進事業  
取り組み内容

# 令和5年度は、市内外へのPRや大会・イベントの開催を最優先アクションとして実行し、他アクションについても来年度以降の実施に向けて具体部分の検討を進めました

## 本事業令和5年度の位置づけ

**ポイント** ■ 2023年度は大会／イベント等の優先度の高いアクションの実行だけでなく、**戦略に位置付けたその他のアクションの実行に向けた検討（一部実施）**を行い、「スケボーのまちまつばら」の実現に向けた**市内の機運醸成及び市外からの認知度の向上**を図りました



上記を、「スケボーのまちまつばら」推進協議会の委員と共に検討・実行

# 協議会は全4回、分科会は各アクションごとに、全21回開催し各アクションの効果的な立ち上げ・実行に向け議論を重ねてきました

## 協議会の議題/スケジュール

スケジュール	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月	4月	
	事業スタート	分科会			分科会	イベント開催	分科会	次年度予算要求		分科会		本年度事業終了
	第一回		第二回			第三回		第四回				
時期	2023年7月28日		2023年10月27日			2023年12月21日		2024年3月22日				
ゴール/目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 協議会委員に本事業及び協議会の位置づけ、本年度の事業スケジュールを理解いただく。</li> <li>✓ <u>プロモーション・イベントに関する実施内容・進め方等の方針について合意形成</u>を図ると共に、他委員／市内事業者との連携方法を検討する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各アクションの検討状況を共有し、実施概要について合意する。</li> <li>✓ <u>イベントの当日の流れや他委員／市内事業者との連携内容等の詳細について合意</u>する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各アクションの検討状況を共有し、<u>実施詳細や次年度の予算について合意</u>する。</li> <li>✓ プロモーション・イベント事業について、実施施策の振り返りを行い、改善案を検討する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各アクションの振り返り結果を共有し、<u>次年度の全体方針や各アクションの実施内容について意見交換を行い、合意形成</u>を図る。</li> </ul>				
想定議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業及び協議会の目的・スケジュール共有</li> <li>✓ プロモーション・イベントに関する実施内容・進め方の共有・検討</li> <li>✓ イベントへの協力依頼</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各アクションの検討状況報告</li> <li>✓ イベント事業の当日の流れや他委員／市民との連携内容等の詳細検討</li> <li>✓ プロモーションの実施内容共有</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各アクションの検討状況報告</li> <li>✓ プロモーション・イベント事業の実施内容・結果共有及び、改善策の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各アクションの検討状況報告</li> <li>✓ 次年度以降の事業の方向性討議</li> </ul>				
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 観光協会、商工会議所、青年会議所、松原市文化情報 振興事業団、市内スケートパーク運営事業者、スケボー・スクール運営事業者、市内金融機関、市内交通機関、市外プロモーション企業、市外メディア企業 等</li> </ul>											

# 「スケボーのまち まつばら」の認知拡大を目指し、11/11,12に、おくさま印スケボーパークで大会、まつばらマルシェ横の特設会場で開催しました

## 11/11,12に開催した賑わい創出イベントの概要

### 会場①：桜珈琲松原店横特設スケボー会場

#### 1 ジャムセッション形式のコンテスト (ベストトリックコンテスト)

- 決められた条件のもと、「カッコ良く技を決める」というシンプルなルールで、一番クールなトリックとスタイルを披露したボーダーが勝者となるストリートスケートボードの醍醐味が詰まったコンテスト
- 国内トップボーダー**（西矢栴選手、池慧野巨選手等）を招待し、デモンストレーションを披露。その他、スケボー業界では著名な方々がMCや審査員として参加
- 市内のキッズダンサーによるダンスパフォーマンスも実施

©yuichisugita



池慧野巨選手



西矢栴選手



平松凱選手

※五十音順

#### 2 無料体験会の開催

- スケボーに乗ったことのない未経験者を対象に、スケボー無料体験教室を開催



2つの拠点から  
市内外に向けて  
「スケボーのまち」  
をアピール

### 会場②：おくさま印スケボーパーク

#### 3 「ビギナー部門」「オープン部門」にレベル分けされた大会を開催（Matsubara Trick）

- オープン部門だけでなく、ビギナー部門も用意することで、**幅広いボーダー層の参加を促す**ような大会として企画
- 出場者の事前練習のため、おくさま印スケボーパークのフリー利用者増効果も期待

2日開催					
土	午前	ビギナー予選	日	午前	オープン予選
	午後	ビギナー決勝		午後	オープン決勝

#### 競技スペース（屋内）



#### ウォームアップ場（屋外）



# 複数のコンテンツを通して、 スケボーの魅力や「スケボーのまち まつばら」の取組を発信しました

## 当日の様子



# パークの活用促進は不十分だった点があったものの、無関心層の集客及び体験機会の創出は十分に実現でき、市民に対してスケボーの魅力を発信できました

## 全体を通しての振り返り・様子

### 開催目的

- ① **認知の拡大**  
松原市ならではの大会開催により、多くの人に「スケボーのまち まつばら」を知っていただき、大会や取り組みに興味を持ってもらう
- ② **体験機会の創出**  
人が集まる場で初心者体験会を開催し、スケボーをする人を増やすきっかけを創出する
- ③ **パークの活用促進**  
子供・ビギナー向けの大会開催や体験会を経て、若者世代の参画意向の醸成や、おくさま印スケボーパークの利用者の拡大につなげる

### 結果

#### (○) 認知の拡大

- (○) まつばらマルシェの特設会場には約2,000人が来場し、スケボーに関心がない方も含めて誘客することができた
- (○) セブンパーク天美、まつばらマルシェに設置したビジョンを立ち止まって観戦する方も多く、市内外の方にスケボーの魅力を伝えることができた
- (△) まちづくりとしての「スケボーのまち まつばら」の取り組みを伝えられる場面が少なかった

#### (○) 体験機会の創出

- (○) 雨天中止枠を除き、体験会では全ての時間帯で参加者を呼ぶことができた
  - ✓ 7~8割は市内の方であり、市民のスケボー人口増加に資する取り組みができた

#### (△) パークの活用促進

- (○) まつばらマルシェのコンテストや体験会、ビジョンによる配信を通して、スケボーの面白さを伝えることができ、パークへの来訪意向を一定醸成できた
- (△) 各種メディアを活用したものの、参加者は想定を下回った。PRのタイミングや2拠点開催について再度検討する必要がある

# 市民にはフリーペーパーの配布、市外の方にはミュールアートの発信によって、「スケボーのまち まつばら」としてのブランディングを図りました

## ブランディングプロジェクト実施方針・取組概要

### インナーブランディング

#### 方針

市民と「スケボーのまち まつばら」のタッチポイントを増やし、取り組みを知ってもらうことで理解を得て、応援されるようなPR展開を目指す

#### 取組概要

- 「スケボーのまち まつばら」に関するフリーペーパーを計3回（計3万部）発行、市民へ配布し、本取り組みの認知・理解度向上に努めました

#### 第一回（9月）



#### 第二回（12月）



#### 第三回（2月）



配布先

- ✓ 市内近鉄駅
- ✓ セブンパーク天美
- ✓ まつばらマルシェ、市民祭り 等

- ✓ 市内15小学校、7中学校 等

- ✓ 新聞折込（市内 朝日/読売/産経/毎日/日経5紙）等

目的

- ✓ 「スケボーのまち まつばら」の取り組み訴求
- ✓ スケボーの基礎知識の提供による理解促進

- ✓ 子どもたちが「スケボーをはじめてみたい」と思うきっかけを提供

- ✓ 「スケボーのまち まつばら」の取り組み訴求
- ✓ スケボーを観戦する楽しみ方を訴求

### アウトターブランディング

#### 方針

賑わい創出PJをはじめ、話題性を呼ぶ取り組みを作り、「スケボーのまち まつばら」を効果的に発信し、市内外からの認知を高める

#### 取組概要

- スケボーパークまつばらの外壁へ、ミュールアーティストがアートを描き、その様子を動画でも配信することで、市外の方への認知拡大も図りました



#### COOK (クック) 氏

大阪出身、ロサンゼルスでも活動したグラフィティ・アーティスト。グラフィティ界の巨匠「OG SLICK」率いる「DISSIZIT!」に所属する唯一の日本人



# 大会・イベントやミューラルアートが描かれる様子は、様々な媒体にて動画形式で配信し、市内外に向けて「スケボーのまち まつばら」を発信しました

## 各種メディアからの発信

### 大会に関する動画

地上波 15秒PRスポット



関西テレビ放送  
10/16~11/10

### ミューラルアートに関する動画

2023年12月26日 WALLSHARE社が制作したミューラル動画をCOOK氏、Oden氏他のSNSで公開



- その他、市内配信施設
- ✓ セブパーク天美 AMAMI STADIUMで放映
  - ✓ イオンタウン松原のビジョン
  - ✓ ゆめニティ松原のビジョン
  - ✓ 松原市SNSで発信

### SNS用静止画



### SNS動画



おくさま印スケボーパーク  
スポーツパークまつばら  
ピースジェイコーポレーション  
宮島大介  
LEAPS  
池慧野巨  
平松凱

各SNSで展開



2024年1月23日 関西テレビ放送のWebメディア「みよか」にて、Cook氏インタビュー含むWeb記事を公開  
<https://miyoca.jp/go/265>





# 令和4年度に戦略で定めた他アクションについても、令和6年度以降の本格実施に向けて関係者を集めた分科会を通して具体内容の検討を行いました

## その他アクションに関する今年度の実施内容／次年度の方向性

アクション名	アクションの概要	令和5年度の実施内容	次年度の方針
学校連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 若年層への普及促進を目指して、市内小中学校と連携した情報発信・スケボー体験機会の提供を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実施施策の選定、施策実現に向けた学校側との検討・調整  <b>※市内3校と、令和6年度の体験会実施に関して調整完了</b></li> <li>✓ スケボー部の立ち上げに向けた検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内3校での体験会開催</li> <li>✓ スケボー部設立に向けた論点の検討、実現に向けた各所との調整</li> </ul>
賑わいの場での体験会	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内のスケボー無関心層への普及促進を目指して、人が多く集まる賑わいの場で、スケボー体験機会の提供を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 体験会で活用可能な賑わいの場の整理</li> <li>✓ 体験会実施に向けた関係者間調整  <b>※11/11,12のイベントに合わせて体験会を実施し、30名以上が参加</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 体験会の開催（計3回）</li> </ul>
スケボールール	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内のスケボー無関心層に、“スケボー”への理解を醸成させるため、「スケボーのまちまつばら」としてのルールを制定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 理解醸成のためのルール周知策の検討</li> <li>✓ フリーペーパーでのルール整備の取り組み紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スケートパーク利用規約への「スケボーのまちまつばら」のルール掲載（ステッカー制作も検討）</li> </ul>
先端技術導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 他スケートパークとの差別化を目指し、おくさま印スケボーパークに先端技術を実証的に導入し、効果を検証する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 当パーク利用者（スケートボーダー、コーチ等）へのニーズヒアリング</li> <li>✓ 実証する先端技術の要件整理</li> <li>✓ 実証候補事業者による現場確認、実現性調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実証の実施</li> </ul>

# 令和4年度に戦略で定めた他アクションについても、令和6年度以降の本格実施に向けて関係者を集めた分科会を通して具体内容の検討を行いました

## その他アクションに関する今年度の実施内容／次年度の方向性

アクション名	アクションの概要	令和5年度の実施内容	次年度の方針
交通網整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ おくさま印スケボーパークの利用者増加を目指し、当パークのアクセス性を改善する施策を講じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 交通アクセスの現状分析（利用者／非利用者へのアンケート）</li> <li>✓ 上記分析結果を踏まえた、施策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 必要に応じて、当パークHPを更新</li> </ul>
新規事業開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「スケボーのまちまつばら」を活用した事業が市内で創出され、市内産業が振興されることを目指し、スケボーを活用した事業開発を促進できる仕組みを整備する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内事業者を招いた意見交換会の実施</li> <li>✓ 次年度方針の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スケボー勉強会の開催</li> <li>✓ 単発イベントにおける、スケボーを活用した新規事業の助成</li> </ul>
資金調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「スケボーのまちまつばら」実現に向けた財源確保を目指し、資金調達方法を確立させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 資金調達手法の整理</li> <li>✓ 寄付調達に向けた検討・試行実施  <b>※4件の寄付獲得</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和5年度に試行実施した寄付制度の横展開                      （他アクションや、年間を通じて寄付募集できる仕組みの構築）</li> </ul>